

上越市まちなか居住推進事業

【高田地区】

ニュースレター Vol.7

「まちなか居住推進事業」とは？

まちなかに“これからも住み続けたい”“新たに住んでみたい”“また訪れたい”と思う人が自然に集まるまちを目指す新しいまちづくりの取組です！

本紙やホームページを通じて、事業の取組状況を定期的にお知らせしています。

今回は、新築された雁木とまちなかにUターンしたご家族へのインタビューについてお知らせします。

1. 大町5丁目に新たな雁木が建築されました

前々から雁木を建てたいと思っていた・・・雁木を建替えたい・・・色彩を整えたい・・・

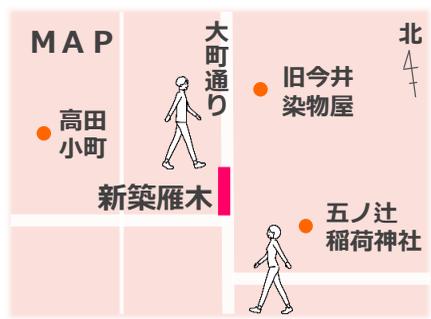
このようなお声を市役所にいただくことが増えてきました。

まちなか居住推進事業では「雁木通りの街なみ形成支援」による補助金制度を設けています。

この制度を活用いただき、このたび大町5丁目に新たな雁木が建築されました。

皆さんの想いが少しずつ目に見える形になっていくお手伝いができ、市としても喜びを感じております。

制度の詳細はご説明に伺いますので、お気軽にお問い合わせください。



まちなか居住推進事業補助金 (雁木通りの街なみ形成支援)

地域の特性に合わせた景観ルールを住民が定め、そのルールに基づいて住民が行う修景事業に係る費用の一部を支援する補助金制度です。

【修景事業の例】



補助対象

- 次の全てを満たす人または団体
- ・区域内に住宅等を所有していること
- ・市税を完納していること

補助対象経費

- ・雁木及び雁木下の歩行面の整備・修景費
- ・住宅等の外観の修景に係る経費
- ・屋根の塗装に係る経費 など

補助額、補助率

修景事業に要する経費の5/6
※雁木及び雁木下の歩行面の整備・修景に係る補助上限額は雁木1メートルあたり30万円です。

2. Kさんご家族にインタビュー



ご夫婦とお子さんの家族3人で高田地区のアパートから仲町6丁目に転入したKさんご家族の旦那さん(仲町6丁目出身)にインタビューしました。「上越市まちなか居住推進事業補助金(町家のリフォーム支援)」を活用し、Kさんの祖父母が住んでいた町家を改修。新たな生活がスタートしました。

Q. 高田のまちなかに戻ってくるようになったきっかけは何ですか？

A. **子どもが生まれたことが大きなきっかけです。**アパートの2階に住んでいたのですが、子どもを抱えて階段を上り下りするのも大変でしたし、泣き声など周りに気を遣いました。

仲町6丁目に祖父母が住んでいた町家があり、しばらく空き家になっていたのですが、そのことを妻に話したら、引越し先として前向きに考えてくれて。妻の実家も私の実家も近くにあり、お互いの両親に子育てに参加してもらえたり、私の職場も近いことなどから、その町家をリフォームして住むことにしました。

「町家も住み良い環境にできる、」

Q. 今のお住まいの住み心地などはいかがですか？

A. **リフォーム工事を行ったことで、機能的で明るい住宅になったと思います。**それと、市の補助金が130万円も出てありがたかったです。補助制度については、各企業の総務部門等を通じて社員に周知することで、賃貸から一戸建てへの引越しを検討している人に情報が届くのではないのでしょうか。

仲町6丁目は生まれ育った場所ということもあり、周りに住んでいる人とも顔見知りでコミュニティにも馴染みやすかったです。

「職人町だったから気さくな人が多く、転入者も馴染みやすい、」

Q. 仲町6丁目のいいところを教えてください。

A. **人が良く、暮らしやすいところです。Uターンしてきて温かく歓迎していただき、ありがたく思います。**

職場も近いですし、出張で鉄道を使うときも駅が近くで、何かと便利な場所だと感じています。

アパートのときは苦勞しましたが、冬の除雪も消雪パイクがある上に、流雪溝もあるので安心ですね。



- ▶ 土間をガレージに改修
- ▶ 玄関サッシは防火仕様に

まちなか居住推進事業補助金(町家のリフォーム支援)

安全・安心で住み心地がよい町家の普及を図るため、耐震・耐火機能の向上を主目的としたリフォーム工事に係る費用の一部を支援する補助金制度です。

補助対象

- 次の全てを満たす人または団体
- ・雁木通りに接している戸建て住宅所有者
 - ・補助金交付後、10年以上居住する意思があることなど

補助対象経費

- リフォーム工事のうち、次の必須工事を含む工事
- ・必須工事:耐震補強工事または防火・耐火工事
 - ・任意工事:必須工事とあわせて実施する工事
(住宅の一部の改築、増築または減築工事など)

補助額、補助率

- ・補助対象経費の1/2、上限100万円
- ・子育て世帯の場合、30万円を加算
- ・公共下水道の接続工事を行う場合、上限30万円(補助率1/3)を加算

